

食品安全情報 No. 6 / 2003 (2003. 06. 12)

国立医薬品食品衛

生研究所 安全情報部

食品関連情報（共通）	--- page 1
食品微生物関連情報	--- page 3
食品化学物質関連情報	--- page 7

食品関連情報（共通）

● WHO Department of Food Safety <http://www.who.int/fsf/>

Food Safety News No. 6 (May 29, 2003)

・56th WHO World Health Assembly adopted a resolution on Codex Alimentarius

5月26日に行われた第56回 WHO World Health Assembly において、Codex 委員会の任務に対する FAO/WHO による評価について議論が行われた。合意された要点として、Codex の中で健康影響の観点をより重視すべきであること、WHO が Codex において、特に科学的助言を行うという点で、より積極的な役割を果たすように WHO 事務局長に要請すること、発展途上国を支援していくこと、FAO と協調して互いの活動を補完し合うこと、があげられた。

・Planning meeting on scientific advice to Codex

2001 年の Codex 総会は、FAO と WHO に対して Codex と加盟各国への科学的助言のあり方を緊急に再考するよう求めた。5月29、30日に FAO と WHO は非公式会議を開き、再検討についての第1段階の討議を行った。現在の手順を見直し、リスクアセスメントと科学的助言をより一元的にまたより良く統合することを目標とする。レビューの結果は、7月の Codex 総会に提出される。

・Meeting on SARS virus detection and survival in food and water

香港において、SARS ウイルスが患者糞便や下水などの環境中で長期間生存する可能性が報告されたことを受け、スペイン政府と WHO は FAO と OIE の協力の下、マドリードで会議を開催した。会議では、食品や水の中での当該ウイルスの挙動や、下水処理方法を含む衛生管理手法に関して、研究が必要であるとの提言がなされた。

会議の報告は、(食品安全情報前号でも触れたように)

<http://www.who.int/csr/sars/guidelines/madridmeeting/en/>

から入手可能である。

・Call for Data on Level of Acrylamide in Food and the Total Diet

食品中のAcrylamideのリスクアセスメントのために、FAOとWHOは食品中のAcrylamide濃度と総摂取量に関するデータの提供を呼びかけた。データはJECFAによる安全性評価に用いられる。詳細情報は <http://www.acrylamide-food.org/> まで。

・各 WHO 地域事務所からの情報

ヨーロッパ

東および南ヨーロッパ、中央アジアで、食品微生物検査ならびに発生動向調査に関する研修を重ねている。

パンアメリカ

第3回Pan American Commission for Food Safety (COPAIA)が4月に開かれ、食品衛生が地域、世界にとって優先課題であると認識された。

Inter-American Network of food analysis laboratories (INFAL)

アメリカ大陸の32カ国、68検査研究機関のネットワークであるINFALの第2回会合が6月11－13日に開かれる。議題案は http://www.panalimentos.org/rilaa/i/News_b.asp から入手可能。

食品微生物関連情報

【外国機関のニュース】

- WHO Communicable Disease Surveillance & Response (CSR) Disease Outbreak News <http://www.who.int/csr/don/en/>

当該緊急ニュースなし。

- FDA <http://www.fda.gov/>

Advice on SARS and Potential for Food Transmission May 29, 2003

<http://www.cfsan.fda.gov/~dms/fssars.html>

SARS コロナウイルスが固体表面上で長期期間生存するという情報から、食品関係者の手指表面でもこのウイルスが付着した場合生残することもありうるとし、関係者の手洗いや一般的衛生管理の徹底を求めている。

付属として Questions and Answers for Food Workers and Managers Regarding Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS)も。

- CDC MMWR <http://www.cdc.gov/mmwr/>

June 6, 2003 / Vol. 52 / No. 22 該当ニュースなし

- CDC その他

Molecular Subtyping To Detect Human Listeriosis Clusters

<http://www.cdc.gov/ncidod/EID/vol9no6/02-0702.htm>

1996年から2000年に分離された131株の *Listeria monocytogenes* の PFGE パターンを検討すると、大きな9つのサブタイプクラスター（患者の31%に相当）と5つのクラスター（同18%）を検出した。この中には州を超えた広域集団食中毒の原因となった株もあった。リステリア症の13~31%は単一株の汚染に起因すると推定される。ニューヨーク州衛生局、コーネル大学、アルバニー大学の共同研究。

- USDA FSIS

<http://www.fsis.usda.gov/index.htm>

1. FSIS Strengthens Regulations to Reduce *Listeria monocytogenes* In Ready-To-Eat Meat and Poultry Products, June 4, 2003

<http://www.fsis.usda.gov/oa/news/2003/lmfinal.htm>

調理済み食品を製造する全ての施設は、*Listeria monocytogenes* による汚染を低減するために、この菌を制御するための個別のプログラムとしての HACCP システムや衛生標準作業手順書 (SOP) を文書化し、そのプログラムの有効性について微生物検査に基づく検証

を行うように求める規則を発表した。検査データは USDAFSIS と共有される。
この規則は 6 月 6 日に Federal Register に公表された後、120 日後に施行される。しかし
18 ヶ月間は意見を募集し、再評価を受ける。

● The Canadian Food Inspection Agency

<http://www.inspection.gc.ca/english/toce.shtml>

1. LE COUREUR DES BOIS OLD FASHIONED DUCK CONFIT MAY CONTAIN DANGEROUS BACTERIA June 4, 2003

<http://www.inspection.gc.ca/english/corpaffr/recarapp/2003/20030604e.shtml>

Le Coureur des bois の「オールドファッション・アヒルのコンフィ」がボツリヌスに汚染の可能性により回収。

2. Mandatory recall order for kid3.com capsules as they may contain microcystins, June 4, 2003

<http://www.inspection.gc.ca/english/corpaffr/recarapp/2003/20030604be.shtml>

肝臓毒性のある microcystins がカプセル内容に含まれるとして、Deliteful Foods Inc. に対し、製品の強制回収を指示。kid3.com という製品はカナダ全国に流通。

● FSNET Fsnet Archives - 2003

<http://www.foodsafetynetwork.ca/>

<http://131.104.232.9/fsnet-archives.htm>

1. SURVEY SHOWS PUBLIC DIVIDED ON FOOD SAFETY CONCERNS, June 6, 2003

http://131.104.232.9/fsnet/2003/6-2003/fsnet_june_7.htm#SURVEY%20SHOWS%20PUBLIC

4,014 人の州住民を対象としたオハイオ州立大学の調査によると、ニュース情報に関心のある人々ほど、食品衛生にも関心が高いとの結果が出た。

2. BILL REQUIRING "ZERO TOLERANCE" PERFORMANCE STANDARD FOR LISTERIA, WARNING LABELS FOR READY-TO-EAT MEATS INTRODUCED IN U.S. SENATE, June 5, 2003, AMI Media Release

<http://www.meatami.com/>

6 月 4 日、ヒラリー・クリントン上院議員はリステリア制御に関する議案(S. 1187)を提出した。それによると、調理済み食肉製品の製造者は、14 項目の「科学的に検証された」検査プログラムを実行するか、そうでなければ「ハイリスクである消費者は、この製品を十分加熱しない限り消費しないこと」という表示をつけることになる。

● EU public health

ベルギーのニワトリ移動解禁

Export of live poultry and hatching eggs can resume in Belgium, 27 May 2003

http://europa.eu.int/comm/dgs/health_consumer/library/press/press285_en.pdf

4月にトリインフルエンザが発生してから禁止されていた生きた鶏の移動であるが、ベルギー政府の迅速な対応により流行が終息したため、アントワープとリンブルグ地方以外については5月27日以降移動を解禁。

● European Food Safety Authority

<http://www.efsa.eu.int/>

該当緊急ニュースなし

● Food Standards Australia New Zealand

<http://www.foodstandards.gov.au/>

Food Standards News 45, June 2003

<http://www.foodstandards.gov.au/mediareleasespublications/foodstandardsnews/foodstandardsnews45j2054.cfm>

Seafood standard given direction through public submissions

水産物規格基準設定委員会は基準設定に向けて報告書を取りまとめた。

その他

● Codex

<http://www.codexalimentarius.net/>

該当緊急ニュースなし

【その他トピックス】

◆野生動物業者13%陽性

中国広東省、508人を調査

野生動物を扱う業者508人に対し、SARSウイルスの抗体検査を実施したところ、13%に当たる66人が陽性だったことが分かった。また、初期の感染者6人について調べた結果、20日以内にヘビなどの野生動物を食べたか調理していたことが明らかになった。26日、中国紙「南方都市報」（電子版）が報じた。

◆「O157」新たに3人 高山、別の集合住宅で／岐阜（03.5.25）

飛騨地域保健所に24日入った連絡によると、高山市内でO157の感染者三人が確認された。県によると、この三人は、これまで十二人の感染者が相次いだ集合住宅とは別の集合住宅に住んでいるという。

◆国立感染症研究所感染症情報センタートップページから Epi Info をリリース。

食品化学物質関連情報

【外国機関のニュース】

- WHO - Food Safety (<http://www.who.int/fsf/>)

緊急ニュースなし

- FAO - Food and Nutrition (http://www.fao.org/es/ESN/index_en.stm)

緊急ニュースなし

- EU (Food Safety: from the Farm to the Fork)
(http://europa.eu.int/comm/food/index_en.html)

1. ノンジュースと高 DHA 含有油を食品成分として認可

Noni juice and DHA rich oil approved for use as food ingredients, 10 June 2003

http://europa.eu.int/comm/dgs/health_consumer/library/press/press288_en.pdf

2. EC の科学運営委員会と TSE/BSE 特別グループによる BSE リスクアセスメントの概要

Overview of the BSE risk assessments of the European Commission's Scientific Steering Committee (SSC) and its TSE/BSE ad hoc Group

http://europa.eu.int/comm/food/fs/sc/ssc/out364_en.pdf

3. アフラトキシン、ニトロフランなど

Rapid alerts system for food and feed for week 22 (up to 28 May 2003)

http://europa.eu.int/comm/food/fs/sfp/ras_week22_en.pdf

4. 食品及び飼料中 GMO (遺伝子組換え体) の認可・標識・トレーサビリティに関する現行の規制を見直して、新しい規制を提案している。現在提案されている二つの新しい規制は産業界に明確なルールを提示し、消費者の選択を保護するものである。

A new regulatory framework ahead on authorisation, labelling and traceability

http://europa.eu.int/comm/dgs/health_consumer/newsletter/200305/1.htm

5. ウシブルセラ症根絶プログラムの評価に関する報告書

General report on the outcome of a series of missions carried out during 2002 to evaluate the progress of bovine brucellosis eradication programmes in certain Member States (9501/2003)

http://europa.eu.int/comm/food/fs/inspections/special_reports/sr_rep_9501-2003_en.pdf

6. EC の Scientific Steering Committee による世界の BSE 地理的リスクの評価報告書
The assessment of the geographical risk of Bovine Spongiform Encephalopathy carried out worldwide by the European Commission's Scientific Steering Committee
http://europa.eu.int/comm/food/fs/sc/ssc/out363_en.pdf

● 米国

FDA (食品医薬品庁) (<http://www.fda.gov/>)

CFSAN (Center for Food Safety & Applied Nutrition)
(<http://www.cfsan.fda.gov/list.html>)

1. FDA ニュース

FDA と Bureau of Customs and Border Protection (CBP) は Bioterrorism Act の事前通知手続きの合理化を図ると発表。食品輸入業者は、統合された経路を通じて FDA と CBP にその輸入品の中身についての必要な事前通知を伝えることができる。2003 年 12 月 12 日までは稼働する。

FDA, Customs to Streamline Collection of Information on Food Imports May 27, 2003
<http://www.fda.gov/bbs/topics/NEWS/2003/NEW00911.html>

2. FDA Consumer magazine, May-June 2003

Public Health Officials Caution Against Ephedra Use

バルチモア・オリオールズ投手、Steve Bechler が 2003 年 2 月に 23 歳で熱射病による多臓器不全で死亡し、エフェドラを含むサプリメントが何らかの関与をしたのではないかとされ、エフェドラへの関心が再燃した。IOC や National Football League、the National Collegiate Athletic Association 及び International Olympic Committee などは既にエフェドラの使用を禁止しているが、マイナーリーグベースボールもエフェドラを禁止した。

政府は最近激しい運動時やカフェインなどの他の興奮性薬剤との併用などには注意すべきという勧告を出した。また製造・輸入業者にも警告を発している。

http://www.fda.gov/fdac/features/2003/303_ephedra.html

3. リコール

・ Best Life International 社の Viga Tablets (サプリメント)

表記されていない医薬品成分 sildenafil が含まれるため

<http://www.fda.gov/medwatch/SAFETY/2003/safety03.htm#viga>

<http://www.fda.gov/medwatch/SAFETY/2003/viga.htm>

・ Shaw's Supermarkets 社のチョコレートグラハム

過剰な量のピロ亜硫酸ナトリウム (メタ重亜硫酸ナトリウム) が含まれている可能性があるため。この製品を摂取すると亜硫酸(sulfite)にセンシティブな人に重篤な反応を起こす

おそれがある。

http://www.fda.gov/oc/po/firmrecalls/shaws05_03.html

●米国 FSIS (US Department of Agriculture, Food Safety and Inspection Service)

(<http://www.fsis.usda.gov/index.htm>) 緊急ニュースなし

●米国 USDA (農務省)

USDA ニュースリリース

1. USDA RELEASES SPECIFICATIONS FOR THE PURCHASE OF IRRADIATED GROUND BEEF IN THE NATIONAL SCHOOL LUNCH PROGRAM May 29, 2003

2004年1月から米国の学校給食で放射線照射牛ひき肉の使用が許可される。そのための基準が示された。USDAは、各学区で照射肉、非照射肉を選択できるとした上で、学校が生徒、保護者、教師、その他の関係者に照射製品か非照射製品の選択に関する十分な情報を提供するように強くもめている。

<http://www.usda.gov/news/releases/2003/05/0172.htm>

2. Dioxins in Food: An Agricultural Perspective

USDAのダイオキシン研究プログラムの一環として行われた、食肉中への食餌からのダイオキシン吸収・分布に関する研究の報告書。

http://www.fargo.ars.usda.gov/as/jkh_01.pdf

●英国 Food Standards Agency (食品基準庁) (<http://www.food.gov.uk/>)

1. Horse meat for the high jump Wednesday, 04 June 2003

FSAはサラミ、チョリソー、パストラミなどの製品中に、表示されていないウマやロバの肉が入っていないかどうか調べることにした。今年はじめの非公式調査により24検体のサラミのうち3検体にウマ肉が含まれていて、かつ成分表示されていなかったため。

http://www.foodstandards.gov.uk/news/newsarchive/horse_meat

2. Encouraging trends in BSE testing in Europe

EUでは2002年、前年比20%増の1000万頭以上の牛をBSE検査したが、結果が陽性の牛の頭数はほとんど変動がなく、陽性例の率は22%減少した。

<http://www.foodstandards.gov.uk/bse/bsearchive/177>

3. High salt levels found in ready meals Tuesday, 10 June 2003

シェパードパイ、ラザニア、チキンナゲットなどのレディミールに食塩が多く含まれ、一日の量(6g)の98.3%を含むものもあった。

<http://www.foodstandards.gov.uk/news/newsarchive/saltinreadymeals>

4. Is organic food better for you? Thursday, 05 June 2003

FSA の有機食品に関する姿勢

(特に優れた点はないが、食生活を豊かにする役目はある)

<http://www.food.gov.uk/news/newsarchive/cheltenham>

FSAとAFSSA (Agence Française de Sécurité Sanitaire des Aliments)は「有機」食品の安全性や機能性について研究し、通常の食品となんら違いはないという結果を報告している。

http://www.afssa.fr/actualites/index.asp?id_theme=1086&id_info=5312

(フランス語の報告書)

●カナダ Health Canada - Food and Nutrition

(http://www.hc-sc.gc.ca/english/lifestyles/food_nutr.html)

緊急ニュースなし

●カナダ Canadian Food Inspection Agency (<http://www.inspection.gc.ca/>)

1. BSE 続報

BSE Disease investigation in Western Canada

6月11日時点での最新ニュース

BSEリスクが高いと思われる農場で検査を行ったが、BSEは一例も見つかっていない。

残りはアルバータの6箇所のみ。

検査はもうすぐ終わり、数日のうちに総括を行う。

<http://www.inspection.gc.ca/english/anima/heasan/disemala/bseesb/bseesbindexe.shtml>

6月4日時点

18の農場が検疫中。内訳はBSE牛が見つかったアルバータの農場、牧場で一緒になった可能性のあるもう一つのアルバータの農場、感染牛の由来をたどって関連のあるアルバータとサスカチュワンの10の農場、感染牛の子どもに関連したアルバータの3農場、BSE感染牛から作られた餌を受け取って反芻動物がいるブリティッシュコロンビアの3農場。

アルバータの3農場については検査が終了し全て陰性だったので検疫解除。

昨日までに1500頭以上の牛を処分。子牛については検査をしても検出できないため検査はしていない。調査のなかで関連の5頭の雄牛がアメリカに行っていることがわかった。

関連記事

BSE: United States Import Prohibitions and Restrictions Related to Food Products

アメリカへ食品を輸出している業者への案内:BSE発生に伴ってアメリカがカナダからの食品の輸入を制限している。その詳細と対応についての解説。

<http://www.inspection.gc.ca/english/bureau/inform/20030603e.shtml>

●オーストラリア・ニュージーランド Food Standards Australia New Zealand

(<http://www.foodstandards.gov.au/>)

Food Standards News 45 June 2003

No health risk in your cuppa

輸入お茶に低レベルの残留農薬が検出されたとメディアが報じた件で、FSANZ は調査を行ったが健康に影響のある量ではなかった。また残留農薬が検出されたとする葉でお茶をいれた場合、お茶には検出されなかった。

<http://www.foodstandards.gov.au/mediareleasespublications/foodstandardsnews/foodstandardsnews45j2054.cfm>

【その他】

1. UK's Public debate on GM begins

英国で GM に関する議論開始。

議論の詳細は以下のサイトで。

<http://www.gmnation.org.uk/>

2. Quorn の安全性が再び問題となる

(注: Quorn キノコから作られた植物性たんぱく質で、食感が肉に似ていることから、食肉代替食品として最近欧州から米国市場に登場した。原料はキノコの *Fusarium venenatum* から得られる mycoprotein とされている。)

・ Quorn が原因のアレルギー患者の報告があった。

Immediate-type hypersensitivity reaction to ingestion of mycoprotein (Quorn) in a patient allergic to molds caused by acidic ribosomal protein P2

Journal of Allergy and Clinical Immunology, 2003, 111(5):1106-1110.

・ 米国 CSPI

(Center for Science in the Public Interest : <http://www.cspinet.org/index.html>) は

4 月に Quorn の安全性に疑問がある (550 人が病気になった) と FDA に報告した。

・ 英国 FSA は CSPI の質問に対して 2002 年 9 月に Quorn の安全性には問題がないとしている。<http://www.foodstandards.gov.uk/news/newsarchive/quorn>

3. 英国の Pesticides Residues Committee による残留農薬報告書 2002 年 10-12 月

<http://www.pesticides.gov.uk/committees/PRC/fourthq2002/Q4rep2002.pdf>

quarterly report for October – December 2002

4. 医薬品ではなく、食品として売られているサプリメントに関する規制が議会に提出された。

2005 年 8 月 1 日施行。リストに載っていないビタミンやミネラルの使用を禁止するなどの内容。

Statutory Instrument 2003 No. 1387

The Food Supplements (England) Regulations 2003

<http://www.legislation.hmso.gov.uk/si/si2003/20031387.htm>

5. 米国 EPA（環境保護局）の食品安全に関する市民向けページ

1) What You and Your Family Need to Know

食品中の残留基準や食品中の農薬の種類、その他についてわかりやすく解説

<http://www.epa.gov/pesticides/food/>

2) Should I Eat the Fish I Catch ?

A guide to healthy eating of the fish you catch

汚染化学物質を含む魚を食べることによるリスクを減らすには？

いかに魚をきれいにするか、いかに魚を料理するか、などが記載されたパンフレット

<http://www.epa.gov/ost/fish/fisheng.pdf>

3) Food Irradiation

食品照射についての解説

http://www.epa.gov/radiation/sources/food_irrad.htm

【関連雑誌、学会】

1. Sperm changes in men exposed to polychlorinated biphenyls and dibenzofurans.

JAMA, 2003;289:2943-2944

Hsu PC, et al.

2. 病原性プリオン特異的エピトープの発見

(BSE ワクチン開発につながるかもしれない)

A prion protein epitope selective for the pathologically misfolded conformation

Nature medicine; Published online: 1 June 2003, doi:10.1038/nm883

3. プリオン病:スクレイピー耐性ヒツジもBSEに罹る

Prion diseases: BSE in sheep bred for resistance to infection

Nature **423**, 498 (2003); doi:10.1038/423498a